

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・実際に人の生の声を聞き、道の駅の良さを実感できた。自分たちでインタビューしていくことで、人とのコミュニケーションもとれ、良い経験になったと思う。(3)
- ・インタビューすることで、話しかける勇気がついた。
- ・人の意見をしっかり聞けて、これから米沢を良くしていくには様々なことができると思った。小さなことから、より良くできるように心がけたい。
- ・前回の講義で教わったことを思い出しながら、実際の現場でフィールドワークをすることで、より理解が深まったし、何よりも楽しかったです。(2)
- ・このコースに参加して良かった。
- ・地元の道の駅について知れたので良かった。
- ・実際に行ってインタビューすることがとても楽しかった。
- ・実際に道の駅を見学し、取り組んでいることを学んだり、お客さんに話を聞いたりして、地域振興について学ぶことができて良かった。
- ・インタビューしてみて、いろいろな意見があった。もっと、いろんな人にインタビューできたらよい発見があったと思う。
- ・貴重な体験ができた。(3)
- ・現場へ向かうことで「体感」することができました。いい経験になりました。
- ・来ている人にきくことで、門根や貴重な意見が聞けるので、それが一番地域への要求や、これから大切になってくるものだと思うので、良い勉強になったと思う。
- ・とても勉強できて楽しかった。
- ・インタビューを快く答えてくれる人だけではないということをしっかり念頭に置くべきだったと反省した。恥ずかしがってはいけないと感じた。
- ・工夫や心がけなど詳しく知ることができた。初めて道の駅にきたけど、キレイで落ち着いた空間で、なかなかやるなと思った。
- ・話を店側の人やお客さんに聞いたことで、様々な立場から考えて様子を見ることができた。

② 人文学とサイエンス

- ・自分の知らなかった社会に対する考え方を知れてよかった。(3)
- ・自分の考えや視野が広がったし、改めて性について考えるよい機会となったと思います。(7) 自分でも分からなかったことなどや更に知りたいと思ったことなどを調べて、自分なりの答えを見つけていきたいです。
- ・ジェンダーというデリケートな問題について、深く考えられて良かった。(3) 周りの人と意見交換ができたことも良かったと思う。(2)
- ・身近な話題でもっと知識を身につけたいと思った。
- ・ジェンダー問題について、以前から興味があったので、今回の講話を聞いて、新しい知識がたくさん増えたので良かったです。
- ・初めて知る言葉が多くあった。性や性の表現の仕方が人それぞれであるということが分かり、これから生きていくために、より一層知識と理解が必要だと思った。
- ・性のあり方が、この人は私とは違うから気をつけなきゃではなく、こういう人種もいるんだと、あくまで気を使うのではなく、受け入れていく姿勢で生活していきたい。

- ・勉強になりました。
- ・性についての話で、自分では理解していたつもりが、まだまだだなと感じた。これからしっかり性の正しい知識を持つようにしたい。
- ・各人のSOGIを尊重することは大切だと知った。
- ・理系選択にしたけど、今の社会で生きていく人間として、全員がこの知識をつけたほうがよいと思いました。自分なりに、もっと深く考えることが大切だと思いました。
- ・性というものは、現代社会では多様化しているけれど、未だ茶化したり差別というものが残っているのが課題だと思った。時には悪意のないものだったとしても、それが差別に当たるという現象も起きている。それは固定観念が強く、良くも悪くも残っていることで起こるので、“当たり前”を根本から更新していくのが必要ではないかと思った。
- ・ジェンダーについて、最近よく取り上げられているし、自分でも多少は知っているつもりでいたけど、まだ他人事のように思っていることを実感したので、今回の講義を通して理解を深め、もっと関心を持ってみたいと思った。

③ 教育と科学

- ・たった20分の授業の計画をするだけで大変だったので、毎日55分の授業を何回もしている現役の先生方がすごいと思った。(2)
- ・小学生に分かるような説明や分かりやすくするための工夫を考えることができた。
- ・実際に勉強が分からない人のことを考えて指導案を作るのは難しかった。
- ・一回一回の授業で、教員は構成を練っていて、大変な作業だと改めて感じた。(2)
- ・考えるのが楽しかった。良い授業ができるようにしたい。
- ・模擬授業の指導案をつくってみて、結構難しかったです。(2)
- ・どうしたら分かりやすいかというのをグループの中で話し合いながら進めることができたのでよかった。(2)
- ・時間を有効に使えるように工夫をするのが楽しかった。
- ・班の人とうまく計画を立てられたと思う。
- ・組み立て方や進め方は、4人で考えても難しかった。
- ・一人ひとり理解しやすさは違うということを知ったので、工夫して授業をつくるのが大切だと思います。
- ・前回の講義を活かして、授業の構成を考えることができました。自分から意見を出したり、グループの人の意見に耳を傾けたりなどして、充実した話し合い活動になってよかったです。

④ ライフサイエンス

- ・地元の植物であるウコギについて、より知ることができて面白かった。
- ・ウコギについてしっかり調べるのは初めてだったけど、ポリフェノール量などくわしく調べられて、また、電気パンを作って、実際にウコギを食べられたので楽しかった。
- ・米沢市民ではないので、あまりウコギになじみがなかったけれど、今回の講座でウコギのパワーや魅力について知ることができたのでよかったです。自分の住んでいる市の特産物でも分析してみたいと思いました。
- ・ウコギの使い道が広いことに気付けた。
- ・今回のFSは実験が主体であり、楽しみながら地元のことについて学び、科学についてもよく考えることができました。今回のような楽しい内容は自分はとても好きなので、またやってみたいと思いました。

- ・ポリフェノール量を実際に測定することで、やり方が分かったし、貴重な体験で、将来を考えるきっかけになった。
- ・久しく実験をやっていなかったため、久々に実験をやれてよかったです。マイクロピペットを使うのは初めての経験でした。ウコギパンは、味は普通でしたが作るのが楽しかったです。
- ・さまざまな実験を通して、分析することでわかることが実際に学べてよかったです。

⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・東北大学科学者の卵養成講座で学んだことが生かされたので、積極的にこれからも校外活動などで色々な講義を受けてみたいと思った。
- ・電子顕微鏡を初めて見て、思ったより小さいのだなと感じた。
- ・有機 EL について良く知らなかったので、いろいろな応用をきかせられるものだと知って、今後に期待が高まるばかりです。
- ・今回は有機 EL について講義を受け、実際にそれが使われている建物を見て、その実用性を実感しました。有機 EL は私たちの心と体の健康を支えてくれる大切な存在だと分かったので、有機 EL の可能性を考慮しながら、自分の将来につなげていきたいです。(4)
- ・有機 EL の仕組みや使われ方について知ることができました。(3) 有機 EL を使うことによって、生活の便利さが増し、家の彩も豊かになると思いました。
- ・講義など分かりやすく、楽しめた。
- ・米沢の世界一は4つぐらいあるのはすごいことだと思ったし、近未来に向けて一歩ずつ日本も変わっているんだなと思った。また参加したい。
- ・有機 EL は生活に必ず必要なものではないけど、未来ハウスのような家だったら、絶対楽しいだろうなと思った。また、身の回りの様々なことに応用して役立っていることが分かった。
- ・これからの社会や生活には、今以上に情報や科学技術などが関わってくるようになると思うので、そういうことも頭の中に入れておきながら、これから様々なことを学んでいきたいと思った。

⑥ デザインと工学

- ・視覚障がいの方の体験を初めてしてみて、とても不安で怖い思いをしました。(2) 視覚障がいの方は、これを日常化していて、毎日様々な工夫をこらして生活していることがとてもすごいと思いました。また、そういった聴覚を頼りながら生活している人は、より雑音や騒音が気になりやすいのではないかと感じました。
- ・改めて自分が視覚に頼りすぎていることを実感しました。(5) 視覚障がい者について、もっと知って、サポートできるような知識を持ちたいなと思いました。(2)
- ・デザインが直接社会の問題と関わっていることを改めて知ることができました。興味ある人だけが学ぶのではなく、多くの人が学ぶべきだと思いました。
- ・目が見えない状況では、耳、音がどれだけ大切になるのかが分かった。(2)
- ・体験などを通して、視覚障がい者の難しさや大変さがわかった。(3) 手助けの仕方も学べた。(2)
- ・サウンドスケープは、芸術の授業で一度やったことがあったのですが、今回はさらにデザインへの本質と、これからの生活の中で音への意識の変化があったので、とても面白い講義でした。
- ・今回の講義で、「音」に対するイメージがガラリと変わった。「対話のない世界では何も生まれない」と先生からあったように、これから自分の意見も相手の意見も大切にして、コミュニケーションをとっていききたいと思った。
- ・自分から声を出すことの大切さを改めて感じ取れたのでよかったです。
- ・各々のよりよい環境を作るためには、対話が必要であることを知れたから、実行していきたいです。

- ・音の世界を新しく解釈できて、自分の中で視野が広がったようだった。
- ・講義の内容も興味あるものだったし、体験を通して理解を深めることができた。貴重な体験ができたと思う。

⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・牛のふんや期限の切れた食品など、本来廃棄されるようなものが発電に使われていることを知って驚いたが、発電された電気で地域の電力の一部をまかなえることを知り、エネルギーについて考えさせられた。
- ・米沢の身近な所に、バイオマス発電所というものがあることを知り、驚いた。(4)
- ・自分たちの生活や地域とのつながりを実感することができた。
- ・バイオ発電について知っていたが、今回で詳しいことが分かって、とても面白かったです。(3) 米沢が特別なんだと感じ、嬉しかったです。
- ・米沢という土地柄が生かされた取り組みを知ることができ、よかったです。(2)
- ・バイオマス発電について、実際にしていることを見れて、とても良い経験になった。(5)
- ・リアクト米沢のような企業が更に増え、火力発電に頼らない国になってほしいです。
- ・地域のつながりを感じ、サイエンスの重要性を強く感じることができ良かった。(2)
- ・将来、バイオガスの必要性がだんだん重要になってくると思うので、自分たちの世代でもっと発展できると期待できるようになりました。
- ・エネルギーも地産地消できるようになると、さらに環境にやさしい生活が送れると思う。
- ・今まで、こんなに陰で働いてくれた人がいることに気付かなかったのが申し訳ないと思いました。日々快適に暮らすためにいろんな人の支えがあることを改めて実感しました。感謝、関心を忘れないで暮らしたいです。

⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・実験を高校ではじめてして、中学校とはレベルが違うなと思ったし、質問コーナーでも様々な知識を幅広く得られたのでよかったです。
- ・先生への質問、とても楽しかったです。質問することの大切さも学びました。
- ・実験はとても繊細で大変だったけれど、楽しかったです。(2)
- ・CSSでも一度したことがある実験だったが、時間をかけたので薬品の効果など詳しいところまで理解できてよかった。
- ・今回のFSでは、DNAの複製やアルコールの関係性について、深く、面白く学ばせていただきました。実験方法等も、普段触れないようなものばかりだったので、とても新鮮でした。(2)
- ・大人になったらお酒を飲みたいと思います。日本酒と刺身が楽しみです。(2)
- ・今回の講義に参加してみて、PCRによるDNAの増幅を行い、実験には色々な作業があり、慎重に行う必要があり、科学者たちは大変なんだなと実感しました。また、生物について深く知ることができ、よかったです。
- ・質問などをしたほうが良いこともわかった。
- ・自分のアルコールの耐性についてわかった。
- ・実験って感じがして楽しかった。内容も、生物とつなげて考えることができた。
- ・研究は地道に試行錯誤することが大切だということを見をもって知ることができました。
- ・DNAが増える仕組みを理解できたので良かった。
- ・DNAや遺伝子について、PCRの方法などを詳しく知れて面白かったです。(2)
- ・普段使わないような実験器具を使うのはとても難しかったです。上手くいったときは、すごく嬉し

かったです。もっと上手に実験できるようになりたいと思いました。

・実験が進むうちに、こんなこと一般の高校生は行わないだろうなと思い、SSH校に入学した実感が湧いてきました。DNAを増やしたり、科学の力ってすごいと思いました。

⑨ 医療の最先端

・コロナと共生する社会になって何年か経っているけれど、今以上に何かできることがあるかと言われると、思いつかないし、真っ向から取り組んでいる研究者の方々の気持ちが少なからず知れたような気がして、より身近に感じられた。

・今のコロナ禍の状況を考え直し、どうしたらこうできるようになるかなど考えることができておもしろかった。

・今回、COVID-19 の話を聞いて、ウイルスと共存という今まで僕が思っていたことを覆すような考えが出てきて、とても楽しかったです。

・COVID-19 について真剣に考えることができた。(2)

・COVID-19 はこれからも長く続くと思うが、一日でも早く収束できるように、一人一人が感染対策を徹底していくべきだと思った。(2)

・ウイルスについてやワクチンについて自分の知らなかったことがたくさん知れた。(3)

・ディスカッションすることで、自分ができることなどを実感することができたし、より考えが深まりました。(7)

・まだ収束しないコロナについて、勘違いしているところも多くあり、それを学べる良い機会になったと思います。(2)

・近代、様々な産業や技術が発達し、感染は起きにくくなっていると思ったが、逆だったことに驚いた。グローバル化が進むことで、人との関係も増えるので、感染対策も個人だけでなく団体で行うことが必要だと思った。

・COVID-19 について、最前線で活動されている方のお話は、新しい学びが多く、考えさせられることも多かった。(2)

・COVID-19 に対する現代社会とのつながりや課題をくわしく知ることができて、とても良い機会となった。(4) COVID-19 との共生について、自分のできるところから始めていきたい。(2)

・今まで知らなかったことも知れて面白かったです。自分の中の知識も増え、今後にいかしていきたいと思いました。(2)

・3年間付き合い合ってきた COVID-19 だが、意外に知らないことも多く、自分の置かれている状況がどのようなものなのかを改めて再認識することができた。制限された生活が終わってしまうと思う一方で、日常化してしまったこの生活がなくなるのも少し怖いなと思ってしまう。社会全体のためにすべきこととは何かを知り、行動し、次世代につなげていけるようになりたいと思った。

・私たちがこれからどう生活していけばよいか、世界のために何ができるかという案が、今までもやってきたことだったり、自分たちが主体としてできるものではなかったりしていたと思った。COVID-19 の話、今までの感染症について学んで、はやく、人、世界のために働ける、動ける人材になりたいと思った。